

「東旭川まちづくり推進協議会」委員の意見

○まち協に関するご意見

3月までに集まって課題・実施したいことを出し合う意見交換を希望。一人ずつ、各立場からの意見を出してもらい、みんなで検討する形にしていく。部会性ではなく、全体で話し合う。事務局の事業のかかわり方を知りたい。

- ・参加者発言をもっと促す会議の工夫
参加者の発言が少なく感じる。より活発な議論が生まれるような工夫をし、話し合いがあまりなされないうちに短時間で会議が終了しないような会議の運営を望みたい。
- ・まちづくり会議の意味の再考
毎回20名以上の人が集まり行われる会議の意味を考え、今後も有効に活用していけるようお互いに知恵を出し合い議論を重ねたい。

まち協は縁の下の力持ち的存在として住民と行政を繋げていくのが良いと思います。

地域に担い手がいない。後継者を見つけなければやめられない。どうすればよいのか？

○今年度後期及び来年度に行いたい事業

子ども・子育て	子どもの遊び場が少ないので確保したい（東旭川公民館ホール等）、雪山を作り滑り台で遊ぶ
	本年度事業：計画事業を確実に実施できている。残りも確実に実施 今後の事業：イベントは人集めが大変なので、児童や生徒を取り込んだ遊び的な事業はどうか（例：七夕まつり、花火大会等）
	・幅広い年齢層が参加できるイベントの開催 Ex ハロウィン、ロウソク出せや ふれあい祭りの的なもの ・子ども食堂や放課後の居場所づくり （子育て応援サロンみたいなもので独居高齢者も交流できるもの）
	自然豊かな旭山の活用（9つの記念碑探索、88か所巡り、三浦庭園）子供や親子に重点を置く
	あさひやまなんでもクラブへの講師に関する情報提供 講師の情報提供を積極的に行うとよいのでは ・R7年度、第5小学校は開校120年を迎える。特認校だが学童保育等がない。学童保育があれば余裕をもって送迎に望めるし、学校運営も安定する。米原瑞穂、豊田、桜岡地区に残る学校としてさくらおか保育所とも連携できる。そうした活動はできないか？
SNS	まち協で公式LINEアカウントを取得して情報（発信ができないか？ 【まち協公式LINE】地域のイベント情報を配信、周辺地域のイベント情報を発信 子育てサロン開催日の案内を配信、その他、情報発信してもらいたい事業者からの広告を配信 （東豊公園で農産物販売、屯田公園でイベント開催、CoCoDeで体験会開催などなど）
	次年度、地域課題、事業実施での困りごととしてあがってくる、情報（イベントごと）発信の取り組みを検討したい。例えば、東旭川まち協のSNS、ラインを作成。そこから周知したいことなどを集約し、発信。
	定期的にできるような仕組みやネットワークづくり SNSなどを使った広報活動
グルメ	イベントを開催することは、まち協のPRの為にはとてもよい。 他のイベントに参加することを提案したい。 Ex. 夜桜まつり、神社エール、盆踊り、モンゴル村音楽まつりなどなど まち協グルメ部会で出店、東旭川の食材で調理。農産物直売はどうか？
	令和7年度もぜひ市民委員会と合同で東旭川まるっとマルシェをしてほしい
その他	・フードバンク ・地域の素材を使った料理教室、モノづくり体験
	桜岡でも空き家が多いため、持ち主と連携して、例えば貸家として利用するのはどうか？
	スポーツに触れられるイベント（野球、サッカー、モルック、ベースボール5、車いすソフトボールなど）パラスポーツ体験などもバリアフリーへの理解深まる
	いつでも集まって参加や企画ができるような場所の設置 名付けてあさひやまBASE 講演会の開催 テーマ：街の賑わいの作り方 講師：元東川町長 松岡市郎さん ねらい：街の活性化＝街がにぎやかになること 元気のある街並みをつくるための方法基本的な考え方と仕掛け方 東川の街と東旭川の街の対照的な違いの原因と対策について考える